

# 心耕

## 3月号

額にシンクワウを貼った帳簿をつけている  
自営業のお客さんへ…税金…確定申告

心 耕

### 今月の行事

十二日(日) 常例法座 午後時より

法話担当―住職

十九日(日)二十日(月)二十一日(火)

### 春季彼岸会

※三日間全て午後一時より

各家庭へのお参りは、  
13日お始めます。

池上 十日(金) 午後一時より

字 経 会 十五日(水) 午後六時より

三島 廿一日(水) 午後六時より

三島 廿二日(火) 午前十時半より

婦人会・壮年会で  
主催しています。  
参加は男女問はず。

12日 朝8時より  
草刈り

毎月一回、  
御加勢  
をお願いします。

10日 午前10時より

お磨き  
三月に一度  
仏具がピカピカ  
になります。  
ぜひお願い!

ご晨朝(おあそび)

一年中、朝六時半からお勤め  
をしております。どうぞ、  
お参りください。

二月二十八日、本堂前の白木蓮  
開花。二月に咲くのは初めて。

暖冬。カラスがハクセキレイを  
追い回している。捕まえる気も  
なく単なるイタズラ。赤桐さん

の柿の木に付いたカイガラムシ  
を落としているとすべし近くにツ

グミがいた。セキレイは二ミ  
メートルで逃げないがツグミ

はセミハメートルでサッと逃げ  
る。たいていセキレイはつがい。

ツグミは一羽。そのツグミもあ  
と一月もすれば北へ帰る。帰る

ときは群れになって帰る。モグ  
ラが穴を掘りまくっている。漬

して歩く日課が始まる。草が伸  
び始めてくる。草刈り機の日、

ヤスリかけておかなば。  
ナツメクサが

# 一念慶喜するひとは

## 往生かならずさだまりぬ

一念慶喜……ハツとする瞬間、深い思いの底に真の喜びをするひとは……覚えた人は  
往生……確たる未来への道筋にわが身を置くことが  
かならずさだまりぬ……かならずできるのである

豊かさを求めその上に様々な幸せを築こうとしたが、水面に絵を描く様なものだった。描く前に壊れ、描いている最中に壊れ、描き終えてもたちまちに壊れる。

古ぼけた居酒屋の深夜、常連の二三人と初見の客とが言い争いを始めた。一触即発。そのときずっと黙っていた老主人が二杯のコップ酒をそれぞれの前に置いて言った。「俺からみれば、お前もお前たちも、どっちも子供だな」。ふっとため息を吐いて客の一人が言った。「そうだな」。もう片方も続けた。「確かにそうだな」。しばらくするとすっかり和気あいあい。旧知のように和やかに酒を酌み交わしていた。

火宅と呼ばれるこの娑婆で、良いことが起これば幸せだと生きてはきたが、徒勞にしかず、水泡に帰するばかり。自分に努力もしたし苦勞もしたが、その努力も苦勞も誰も分かっ てはくれない。酒でも飲むか。……若造が、つまらないことを偉そうに話しやがってやかましい。ちつと静かに飲め。やる気か、上等だ、やってやろうじゃないか。……爺さん、あんなの言う通りだよ。子供だよ、餓鬼だよ、バカたれだよ。すまんな騒がせて。お兄さんたちも俺が悪かった。御免な。

他と比べて優れている、勝っていることに喜びを感じることを嫌喜びという。すぐにひっくり返り妬みや愚痴のもとにしかならない。周りの機嫌を損ねる。比べることのない世界に真の喜びはある。今までもこれからもずっとそうである。爺さんばあさんの孫で十分。父母の子で十分。嫁さんの亭主で十分。子の親で十分。孫の爺さんで十分。ぼーっと畑を眺めているおっさんで十分。いいやもつたない。ナンマンダブ ナマンダブ。世界中に今も昔もこれからも溢れつづけていく世界です。

# 一水四見

今見えている世界は、一人ひとりが

同じように見えているのでしようか。もしかすると人によ

って見える世界はかなり違うのかもしれない。

ある日の事でした。台所で恐ろしい光景が見えたのです。

だ、大吟醸のお酒が料理酒として使われているではありません

せんか！「なんでこんないい酒を料理に使うんだ」母親に言

うと「だっておいしくできるんだもん」・・・絶句。

私にとっては、おいしく飲むのがお酒

母にとっては、おいしく料理する調味料がお酒

見える景色が違ったようです。

今回の一水四見とは、水は見るものによって違って見え

るといふ考えのことです。人間には水に見えるが、天人は

瑠璃の大地に見え、地獄の人々は膿の河に見え、魚には道路

に見えるというのです。

立場によって見えるものが違う。私にはこ

う見えているけれども相手にはこう見えてい

る。日常で、少し意識するだけで、少しばかり

平和に暮らせるのかもしれない。



とーたんいやや  
かーたんいよ  
母屋に母艦に  
老母音  
おぼろ母は、老母  
偉大なり

## こんなところに 仏教用語

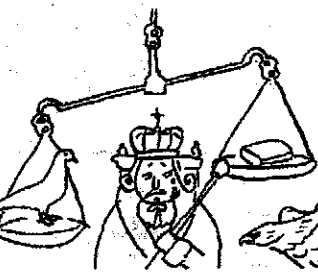
用教仏近  
語を紹介して  
います。

### いのち

いのちについて、仏教のたとえ話があります。  
むかし、むかし、インドにシ

ビ王という王様がいました。ある日、お城の窓から鷹に追われた鳩が入ってきてシビ王の所にやってきました。このままでは鷹に食べられてしまう鳩を助けたいとシビ王は、私の肉を食べたらいいと鷹に条件を出します。鷹は、それでは鳩と同じ重さの肉をくれたら助けてやろうと条件を出しました。交渉は成立し、家来に秤を持ってこさせました。シビ王は、

自分の足の肉を、鳩と同じくらいの大きさに切り取りました。そして秤の皿に鳩をのせ、反対の皿に自分の足の肉をのせました。鳩のほうが重く下にさがっています。王様は家来に「この秤は壊れているのではないか？新しい秤でもう一度量ってみよ。」と、言いました。家来は新しい秤で量ってみましたがやはり先程と同じで鳩のほうが重いのでした。王様は「おかしいな」と、首をかしげながら静かに考えました。そして、王様は「あ、わかった。」と、自分が秤にのりました。するとどうでしょう。王様の方が重いはずなのに、秤は釣り合いがとれて同じ重さを示しました。王様は、鷹に言いました。



た。「どうぞ私を食べて下さい。」すると、鷹は帝釈天に姿を変えて「シビ王、あなたはいのちの尊さに気づいてくれた。あなたはきっと仏さまになられるでしょう。」と言って、王様の行いをほめたたえました。

# 各種ご案内

## ・お朝事

毎朝六時半〜七時、朝のお勤めをしています。主に正信偈を読みます。朝から声を出すことは気持ちがいいものです。

## ・草取り

冬休暇を終え、三月から草取りが始まります。毎月第一日曜日の朝八時から一時間ほどです。御加勢お願いいたします。

三月一二日(日) 八時〜九時

## ・写経会

池上さんが講師です。いつでもどうぞ！ノビノビとやっています。

壮年会 一五日 一八時〜

婦人会 一〇日 一三時〜

## ・壮年会・婦人会主催の勉強会

三島さんが講師です。真宗の教えを知りたい方は是非！

壮年会 一日 十八時〜 四月は五日

婦人会 一二日 一一時〜

## ・おみがき

お彼岸の前に、仏具を磨きます。作業は難しくありません。一緒に本堂をきれいにしましょう。

日時 一〇日 十時〜十二時

\*坊守特性ランチ付

## ・心耕発送者募集！

毎月皆様のお手元に届けられる心耕。この心耕は、有志のご門徒にお手伝いいただき発送をしています。この発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態…三カ月に一度 主に月初めの平日 時間…一〇時〜一二時 特製ランチ付♪

## ・熊本地震災害義援金

皆様のおかげによりまして、73,720円(一月下旬)の義援金が集まりました。御協力有難うございます。受付しています。

## ・メールマガジンのご案内

毎月の行事、公開講座、子供会、落語会のご案内や4コマ漫画を、メールマガジンで配信。登録は、左記のQRコードを用いるか、saikohji@saikohji.netまで、氏名を記入し送信してください。

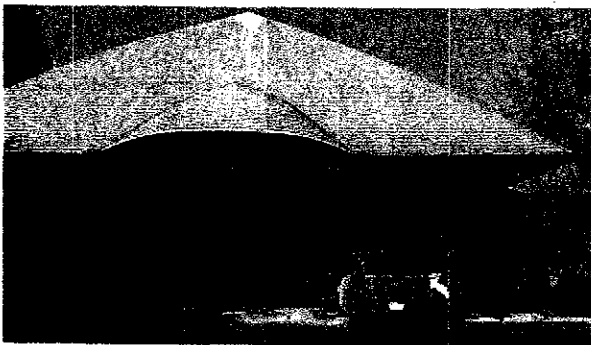


## ・ホステイングお手伝い募集

度々開かれる、子供会・公開講座・落語会のチラシを近所へ配布しています。もし皆様の中で近所の五十軒だったら回れる、この町内は回れる。このお店にチラシを置かせておられるなどありましたら、連絡して下さい。年に数回です。ご協力よろしくお願いいたします。

## ・若住職から報告

福田寺(鴨川市)のご住職が、病の為、法務を勤めることが難しい状態となりました。そこで、西光寺若住職が代務住職として赴任することとなりました。福田寺さんは若住職夫妻の仲人でもあります。できる限り勤めさせていただく所存です。



▲福田寺外観

# 3月の法座案内

## 12日(日) 定例法座 13:00~15:00

お勤め：正信偈

法話：住職 「念ふべきは往生のすまじき  
今月の法語カレンダーより、住職が話します。

歎異抄入門：来年度より、仏教入門法座で歎異抄を講じます。その前段階として、NHKの「100分で名著」という番組で、歎異抄が4回に分けて放送されたものを、上映します。今回は第3回です。

## 春季彼岸会 13:00~15:00

法要日	お勤め	法話	法題
19日(日)	日没礼賛	若住職	言葉とはたらき
20日(月)	初夜礼賛	住職	
21日(火)	中夜礼賛	三島さん	往生…本願力にまかすれば

### お彼岸とは？

太陽が真西に沈む秋分の日と春分の日。日の沈むところ、すべてのいのちがおさまるところに阿弥陀如来の極楽浄土があり、それを味わうのがお彼岸です。正式には春分の日を挟んで前後3日間〔一週間〕がお彼岸ですが、西光寺は、中日を挟んで3日間法要をお勤めします。ともにいのちについて考えましょう。

### 各家庭参りについて

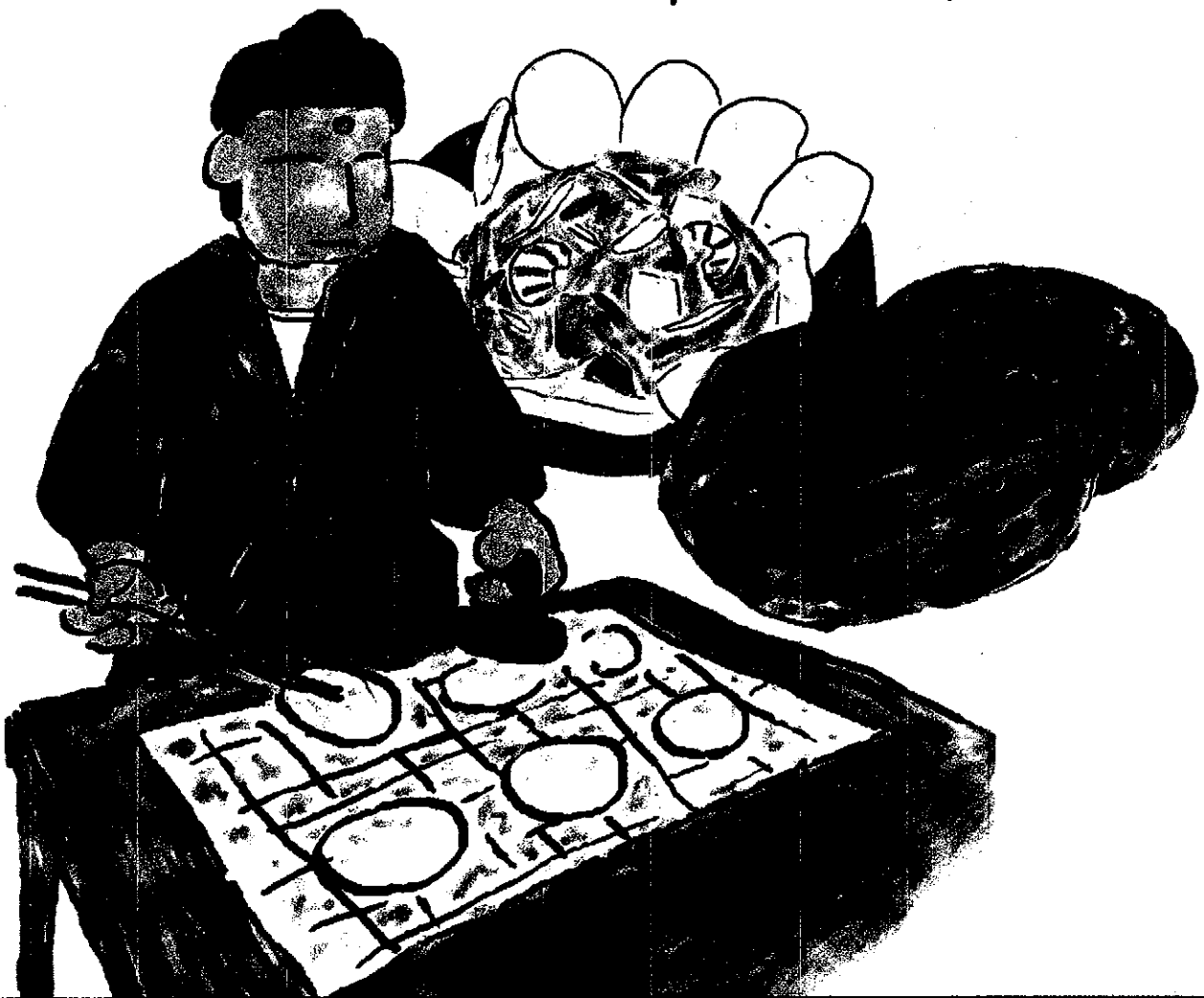
春のお彼岸は家庭参りもしています。別紙に詳細を載せていますので、参考にしてください。

**\*送迎します。五井駅、自宅等々できるだけいたしますので、**

**お寺に相談してください。遠慮は無用です^^**

# 花まつり

-せんべいを焼いてみよう-  
-せんべいの料理を作ろう-



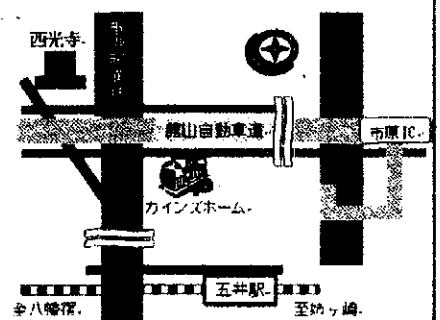
4月9日(日) 10:00~14:00

会費:大人 500円 子供 無料

締切: 4/2 \*要予約

場所: 西光寺 根田 723-1

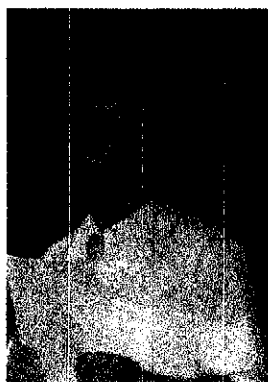
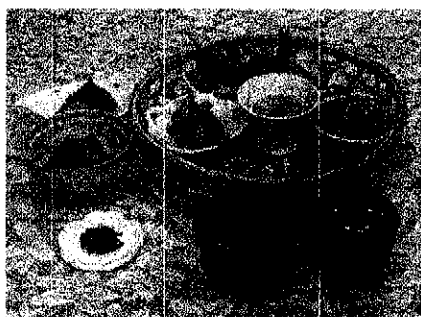
連絡先: 0463-22-7412



婦人会主催

行って、食べて、聞いて、おしゃべりしながら桜見て

# 料理勉強会 in 鋸南町



西光寺の料理勉強会で教えに来ていただきました、花あかりさんに行って料理を習おうという企画です。

最誓寺さんの息子さんが、大阪の日本料理屋で修行を積み、現在は最誓寺さんの境内で花あかりという日本料理店を営んでおられます。

たしかな技術のもと、創作にもチャレンジしているその料理は目から楽しませてくれるものばかりです。この際に是非、いろいろな料理のことについて聞きましょう！

はじめての参加歓迎、食べることだけが好きな方を募集しています。桜も見ながらおいしい料理をほおぼりませんか？

\*西光寺から若住職運転のマイクロバスで行く予定です

20名まで

日にち：4月5日（水）

出発時間：10：00 西光寺

解散時間：16：00 西光寺を予定

場所：創作日本料理 花あかり（最誓寺境内）

住所 千葉県安房郡鋸南町竜島1119-1

会費：6000円（バス代、昼食費、最誓寺御礼、保険料等）

締切：3月26日（日）まで

日程

（おみやげな？）

10：00 西光寺出発 == 11：00 最誓寺着 = ご住職の話 = 昼食 = 料理の説明・質問タイム = 14：00 最誓寺出発 = どこか桜の名所、買い物所に寄ります == 16：00 頃西光寺着

### 住職多感

トランプ問題・金正男殺人・国有地不正売却・築地豊洲、仕合わせになりたい人間が寄り集まって、なんじゃこれはと言いたくなるのが盛り沢山。どうにかならんかと思つてもごまめの歯ぎしり。海の底では深海魚に人口の毒物が蓄積され続けている。温暖化はとどまることを知らぬ。

八千代称名寺の長井住職が浦島太郎の話をしてくれた。玉手箱を開けてたちまちお爺さんになってからの太郎の話で、寄る辺なき現代人の苦しみを先刻承知の助の物語だという。師は一人という立場を大切にせねばその苦しみから逃れるすべはないと結論付けられる。そしてその一人という立場こそ、仏教そして真宗が説き続けていることだといわれる。

マスゲーム  
間違った少女  
間違った少女  
間違った少女

もう四十年も前にある月刊誌に載つて

いた四行詩を思い出した。作者も紹介した人物も思い出さないが、初老とよばれる今になつても憶えているのだからよほど鮮烈な印象があつたのだろう。間違いを恐れずは一人という立場は持てないのだ。

ある若者が話していた。進路を悩んだ時父親が話してくれた。世界中がお前を非難しても俺だけはお前の見方だ。思い切つて行け。この言葉に支えられて今があると。

一人には一人がふさわしい。一人が大勢の力をあてにする。ポピュリズムというもので大衆を操ることに長けたものが力を握る。手段は選ばぬ。近現代史にあふれている。声の大きい者が勝ちじゃという風潮破滅という結果をしか招かないことを歴史は教えている。

私はね、ひとりでも原発は人間の愚かさの典型的な表れと言ひ続けますよ。そして琴奨菊を応援し続けますよ。ナンマンダブ

## 四月の行事

・十二日(水) 常例法座 一時より

・二十三日(日) 日曜法座 一時より

三時より 門信徒会総会

・写経会 十四日(金) 一時・十九日(土) 六時

・勉強会 五日(水) 六時・十二日(土) 十時半

草刈り 九日 朝八時より

5日(木) 婦人会料理勉強会

・鋸南町最善寺  
「花あかり」

発行

浄土真宗本願寺派 (西)

西光寺

〒二九〇〇〇二四

千葉県市原市根田

七二三一

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP <http://saikohji.net>

MAIL [saikohji@hb.tpl.jp](mailto:saikohji@hb.tpl.jp)